

# 小美玉 市議会 だより

～ 市民の負託に応えうる  
開かれた議論に基づく  
公平公正な議会を目指して～



2017.4.27 第45号



## 目次

- H29 年度 当初予算決まる P2～
- 第1回 定例会 議案審議結果 P4～
- 当初予算を審査 (予算特別委員会 Q&A) P6～
- 23 議案を審査 (常任委員会 Q&A) P8～
- 11 議員が市政を問う P10～
- 視察報告ほか P16
- プレゼンツクイズ、市民の声ほか P19

## 新しく生まれ変わった 小川南中学校 入学式

# 平成 29 年 第 1 回 定例会

## 平成 29 年度当初予算を含む 36 議案等を審議

**H29 当初予算総額 388 億 7,218 万円 (1.7% 増)**  
**うち、一般会計 235 億 8,700 万円 (前年比 2.4% 増)**



当初予算?・・・新年度が始まる前に、年度内(4月から翌年3月末まで)における収入と支出を見積もったもの。予算を成立させるためには議会の議決が必要となる。

一般会計		歳入主なもの		
財源別	予算額		前年度比較	
	金額	構成	金額	増減率
自主財源	93 億 6,271	39.7	8 億 0,530	8.6
市 税	61 億 9,851	26.3	1 億 3,428	2.2
繰入金ほか	31 億 6,420	13.4	6 億 7,102	2.2
依存財源	142 億 2,429	60.3	△ 2 億 5,330	△ 1.8
地方交付税	40 億	17.0	△ 5 億	△ 12.5
国県支出金	61 億 1,179	25.9	5 億 4,549	8.9
市 債	26 億 7,950	11.4	△ 2 億 2,230	△ 8.3
地方譲与税	3 億 0,200	1.3	500	1.7
交付金	11 億 3,100	4.8	△ 8,149	△ 7.2
歳入計	235 億 8,700	100	5 億 5,200	2.4

一般会計		歳出主なもの		
性質別	予算額		前年度比較	
	金額	構成	金額	増減率
義務的経費	98 億 5,639	41.8	△ 1 億 9,802	△ 2.0
人件費	39 億 0,767	16.6	△ 5,097	△ 1.3
扶助費	38 億 5,515	16.3	△ 1 億 8,231	△ 4.5
公債費	20 億 9,357	8.9	3,526	1.7
投資的経費	50 億 1,943	21.3	1 億 6,707	3.4
普通建設費	50 億 1,943	21.3	1 億 6,707	3.4
その他経費	87 億 1,118	36.9	5 億 8,295	6.7
物件費	32 億 8,343	13.9	1 億 8,025	5.8
補助費等	27 億 4,633	11.6	4 億 3,766	19.0
繰出金	24 億 4,920	10.4	△ 3,908	△ 1.6
その他	2 億 3,222	1.0	412	1.8
歳出計	235 億 8,700	100	5 億 5,200	2.4

全 10 会計					
会計別		予算額	前年度比較		
			金額	増減率	
一般会計		235 億 8,700	5 億 5,200	2.4	
特別会計	国民健康保険(事業)	68 億 4,816	△ 1 億 3,648	△ 2.0	
	国民健康保険(直診)	1 億 4,337	△ 629	△ 4.2	
	後期高齢者医療保険	4 億 7,522	2,636	5.9	
	下水道	14 億 7,410	△ 1 億 1,271	△ 7.1	
	農業集落排水	8 億 1,418	7,287	9.8	
	戸別浄化槽	8,362	△ 245	△ 2.8	
	霊園	1,988	△ 1,950	△ 49.5	
	介護保険(事業)	35 億 8,182	1 億 1,904	3.4	
	介護保険(サービス)	370	△ 68	△ 15.5	
	小計	134 億 4,405	△ 5,984	△ 0.4	
企業会計	水道	収益的収入	8 億 0,664	292	0.4
		支出	7 億 9,266	92	0.1
	資本的	収入	1 億 1,644	2,664	29.7
		支出	7 億 9,810	1 億 6,324	25.7
	病院	収益的収入	2 億 0,296	△ 125	△ 0.6
		支出	1 億 9,500	△ 97	△ 0.5
	資本的	収入	4,991	△ 101	△ 2.0
		支出	5,537	△ 1,910	△ 25.7
	小計	収入	11 億 7,595	2,730	2.4
		支出	18 億 4,113	1 億 4,409	8.5
歳入(収入)計		382 億 0,700	5 億 1,946	1.4	
歳出(支出)計		388 億 7,218	6 億 3,625	1.7	

(単位：万円・%、構成・増減率：△：減、小数点第 2 位を四捨五入)

● **主な事業** (★は、ダイヤモンドシティ・プロジェクト掲載事業)

★ **移住促進住宅取得補助事業** (新規)

【事業費：450万円】



移住促進を支援

★ **JR 羽鳥駅及び駅前広場整備事業**

【事業費：1億6,443万円】



現在の羽鳥駅

★ **LED 防犯灯整備事業**

【事業費：3,276万円】

★ **ふるさと寄附金事業**

【事業費：7,208万円】

★ **学校規模・学校配置適正化事業**

【事業費：5億2,960万円】

★ **戸沢サミット in 小美玉事業** (新規)

【事業費：180万円】



戸沢サミット in 雫石の様子

★ **広域幹線道路整備事業**

【事業費：26億2,590万円】

★ **地方創生推進事業** (新規)

【事業費：2,049万円】



小美玉マーケティングスクールの様子

★ **小川海洋センター施設改修事業** (新規)

【事業費：6,140万円】



現在の小川海洋センター



(島田市長へ提言書を手渡す市村議長、藤井委員長)

「小美玉市医療センター」  
のあり方について

市長へ提言書を提出

地域医療対策特別委員会では、本市の「新公立病院改革プラン」策定にあたり、今後、小美玉市医療センターが果たすべき役割や機能、市民に良質で適切な医療を提供するための意見交換等を行い、調査研究を重ねてきました。

そして、最も効果的で効果的な病院のあり方について、このほど議員の意見を集約した「提言書」をまとめ、3月2日、市長に対し提言書を提出しました。

■ 29年第1回臨時会概要

1月30日、29年第1回臨時会を開会し、市長からの議案3件(報告2件、議案1件)が提出され、併せて、28年第4回定例会で継続審査となっていた請願1件が閉会中の総務常任委員会で審査され、臨時会で採択されました。(※4ページを参照)

【報告】

市税条例等の一部改正

国民健康保険税の一部改正

【議案】

一般会計補正予算

・霞台厚生施設組合に新広域ごみ処理施設建設のため

【請願】

防犯カメラ設置に関する請願

本会議を

モニター中継しています！

市役所本庁・小川総合支所・玉里総合支所の1階ロビーで、本会議開催中は議場の様子をテレビ放映しています。

No	議案	結果
<b>■ 29年度当初予算（9件）</b>		
22	国民健康保険特別会計	[事業勘定]68億4,816万円（前年度比：2.0% ↓） [直診勘定（白河診療所）]1億4,336万7千円（前年度比：4.2% ↓）
23	後期高齢者医療保険特別会計	4億7,522万1千円（前年度比：5.9% ↑）
24	下水道事業特別会計	14億7,409万7千円（前年度比：7.1% ↓）
25	農業集落排水事業特別会計	8億1,418万2千円（前年度比：9.8% ↑）
26	戸別浄化槽事業特別会計	8,362万2千円（前年度比2.8% ↓）
27	霊園事業特別会計	1,988万1千円（前年度比：49.5% ↓）
28	介護保険特別会計（事業勘定・介護サービス勘定）	事業勘定 35億8,181万5千円（前年度比：3.4% ↑） 介護サービス事業勘定 370万9千円（前年度比：15.5% ↓）
29	病院事業会計	[収益的収入及び支出]収入 2億295万5千円、支出 1億9,500万1千円 [資本的収入及び支出]収入 4,990万9千円、支出 5,537万円 *資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 546万1千円は、当年度分損益勘定留保資金により補てんするもの。
30	水道事業会計	[収益的収入及び支出]収入 8億664万1千円、支出 7億9,265万5千円 [資本的収入及び支出]収入 1億1,644万2千円、支出 7億9,810万2千円 *資本的収入額が支出額に対して不足する額 6億8,166万円は、消費税資本的収支調整額、過年度及び当年度 損益勘定留保資金により補てんするもの。

可  
決

**■ その他（5件）**

31	字の区域の設定（茨城空港テクノパーク関係）	茨城県が進める茨城空港テクノパーク工業団地造成事業に伴い、事務処理の円滑化を図るため、新たな字名を設定するもの。
32	市道路線の認定（3路線）	「市道 美 1639 号線」は、農道整備工事に伴うもの。 「市道 美 1640 号線」は、路線の変更に伴うもの。
33	市道路線の変更	「市道 玉 5344 号線」は、開発による宅地造成に伴い、寄附を受けたもの。 柴高地内の「市道 美 1492 号線」及び川戸地内の「市道 小 20361 号線」の敷地の一部用途廃止に伴い、各路線の終点位置を変更するもの。
34	公の施設の広域利用に関する協議	水戸市を中心とする県央地域 9 市町村間において、協定対象施設の削除及び変更に伴い、協定書を見直すもの。
36	指定管理者の指定	小美玉市美野里シビック・ガーデン

可  
決

**■ 陳情（1件）**

1	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情	継続 提出者：茨城中央農民組合
---	-----------------------	--------------------

**平成 29 年第 1 回臨時会 審議結果等一覧（全 4 件）**

**【賛否が分かれた議案】**

No	議案に対する賛否 (賛成：○・反対：●・欠席：-)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			村田春樹	鈴木俊一	木村喜一	植木弘子	石井旭	幡谷好文	谷仲和雄	長島幸男	岩本好夫	福島ヤヨヒ	藤井敏生	小川賢治	大槻良明	関口輝門	笹目雄一	大和田智弘	戸田見成	荒川一秀	野村武勝	

**■ 28 年度 補正予算（1件）**

1	一般会計	可 決	広域ごみ処理施設整備・運営事業の債務負担行為を設定するもの	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---	------	--------	-------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

**【全会一致の議案等】**

**■ 報告（2件）**

1	専決処分の承認	承認	小美玉市税条例等の一部を改正する条例の専決処分
2	専決処分の承認	承認	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分

**■ 請願（1件）**

5	防犯カメラ設置に関する請願書	採 択	請願者：新ひたち野農業協同組合 紹介議員：戸田見成
---	----------------	--------	------------------------------

# 平成 29 年第 1 回定例会 審議結果等一覧(全 35 件)

## 【賛否が分かれた議案】

No	議案に対する賛否 (賛成：○・反対：●・欠席：－)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	19	20
			村田春樹	鈴木俊一	木村喜一	植木弘子	石井旭	幡谷好文	谷仲和雄	長島幸男	岩本好夫	福島ヤコビ	藤井敏生	小川賢治	大槻良明	関口輝門	笹目雄一	大和田智弘	戸田見成	荒川一秀	野村武勝

### ■ 29 年度当初予算 (1 件)

21 平成 29 年度一般会計予算	可決	総額 235 億 8,700 万円 (前年度比: 2.4% ↑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------	----	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 【全会一致の議案等】

### ■ 条例の制定・改正 (10 件)

2 小美玉市工場立地法準則条例の制定	可決	本市への工場誘致を促進するため、工場立地法で定められている敷地面積に対する緑地面積割合等の規制緩和を図る条例を新たに制定するもの。
3 小美玉市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例	可決	指定管理者による協定の締結事項等について、明確化を図るため、所要の整理を行うもの。
4 小美玉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	職員の休暇等に関し、拡充を図るため関係条例の整理を行うもの。
5 小美玉市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	特別職及び職員の旅費に関し、内国旅行の日当支給の取り扱いを改正するため、関係条例の整理を行うもの。
6 小美玉市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	職員の特殊勤務手当の支給に関し、消防業務に従事した場合における手当の一部を改正するもの。
7 小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	職員のストレスチェックの実施に伴い、「産業医」の報酬について、改正するもの。
8 小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置されている「小美玉市学校運営協議会」の委員報酬等について規定するため、改正するもの。
9 小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	「農業委員会等に関する法律」第 6 条第 2 項に係る農業委員等が実施した事務に対し、事業実績に応じた農地利用最適化交付金が交付されることに伴い、報酬及び費用弁償の額を定めるため、改正するもの。
10 小美玉市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	重要な資産の取得及び処分に関する規定を、地方公営企業法施行令に準じた額に改正するもの。
11 旧美野里町障害者住宅整備資金貸付条例の規定に基づく貸付資金の経過措置に関する条例を廃止する条例	可決	当該債務者の償還完了に伴い、本条例を廃止するもの。

### ■ 28 年度 補正予算 (10 件)

12 一般会計(8号)	可決	[歳入歳出補正額] △3億2,027万3千円 [補正後額] 236億6,548万3千円
13 国民健康保険特別会計(4号)	可決	[事業勘定 歳入歳出補正額] △7,078万円 [補正後額] 69億3,929万5千円 [直診勘定(白河診療所) 歳入歳出補正額] △399万円 [補正後額] 1億4,937万1千円
14 後期高齢者医療保険特別会計(3号)	可決	[歳入歳出補正額] 883万1千円 [補正後額] 4億5,884万9千円
15 下水道事業特別会計(4号)	可決	[歳入歳出補正額] △6,904万9千円 [補正後額] 15億4,582万4千円
16 農業集落排水事業特別会計(3号)	可決	[歳入歳出補正額] △222万3千円 [補正後額] 7億4,421万8千円
17 戸別浄化槽事業特別会計(3号)	可決	[歳入歳出補正額] △2,892万6千円 [補正後額] 5,289万6千円
18 霊園事業特別会計(2号)	可決	[歳入歳出補正額] △170万3千円 [補正後額] 3,827万2千円
19 介護保険特別会計(3号)	可決	[事業勘定 歳入歳出補正額] 6,401万2千円 [補正後額] 36億1,254万1千円
20 水道事業会計(3号)	可決	[収益的支出補正額] △2,553万7千円 [補正後額] 7億6,461万3千円 [資本的収入及び支出補正額] (収入) △2,782万2千円 (支出) △1億600万6千円 [補正後額] (収入) 6,197万9千円 (支出) 5億2,885万5千円
35 一般会計(9号)	可決	[歳入歳出補正額] 9,985万8千円 [補正後額] 237億6,534万1千円

# 平成 29 年度の当初予算を審査

## 予算特別委員会 Q & A

平成 29 年の第 1 回定例会が 3 月 2 日から 22 日までの 21 日間の会期で開かれ、平成 29 年度の当初予算を中心に 35 件の議案等について審議しました。

その中で、3 月 13 日、14 日の 2 日間にわたり、29 年度の当初予算（全 10 会計）を審査するため、「予算特別委員会」を設置し審査しました。委員会での主な質疑応答の内容についてお知らせします。



2 日間にわたり行われた予算特別委員会

### 市政全般・市民生活・消防

#### 一般会計歳入・歳出予算編成

**Q.** 普通交付税の一本算定に向けた縮減期間の 2 年目に入り、また、歳入に比べ歳出が増加傾向にあるため、その不足を財政調整基金でのやりくりすると思われるが、現在の財政調整基金残高はいくらか？

**A.** 27 年度末残高で約 32 億 7 9 0 0 万円で、28 年度末で約 30 億 5 3 0 0 万円となる予定。

**Q.** 29 年度の予算編成にあたり、一定の削減目標を盛り込んでいると思われるが、削減率は？

**A.** 歳出予算の枠配分は、約 3 % の減とした。

#### LED の防犯対策経費

**Q.** 28 年度に地区管理の防犯灯設置が終了し、29 年度市管理の防犯灯設置に入るが、市では何基を予定しているのか？

**A.** 約 1 0 0 0 基を予定している。

**Q.** 地区からの更なる申請に基づき防犯灯の新設数は、何基を予定しているのか？

**A.** 約 1 0 0 0 基で、地区と地区との境や通学路等について新たな申請がある場合には、区長等とよく協議して設置を検討したい。

○ 設置箇所をよく精査し、設置していただきたい。



設置された LED 防犯灯照

#### 防犯対策諸費

**Q.** 防災訓練用機材及び災害備蓄品等の内容は？

**A.** 備蓄品の購入は 4 年間のローテーションとしているので、入替えとなるものと、アレルギー対応食品等、新たに必要とされる物を購入する。

訓練用機材は、総合訓練会場で使用する天板資機材等のほか、防災訓練に必要なもの。

○ 28 年度の訓練は中止となったが、29 年度はしっかりと実施していただきたい。



指定管理者となる玉里運動公園・海洋センター

教育・福祉・医療

市内体育施設指定管理委託料

- Q. 指定管理者となる団体は？
- A. 特定非営利活動法人 小美玉スポーツクラブ。
- Q. 指定管理の範囲は？
- A. 玉里運動公園・海洋センターの管理運営を行う。
- Q. 指定管理とするメリットは？
- A. 経費の削減や、通年を通して催しができるなど、市民サービスの向上に繋がり、施設の利用促進が期待できる。

生涯学習センタートイレ改修工事

- Q. トイレ改修工事の範囲は？
- A. 便座を洋式化し、ベビーチェア・オムツ替え台を設置する。

生活保護扶助事業の増減

- Q. 医療扶助費と住宅扶助費の増の要因は？
- A. 生活保護被保護者の高齢化により受診率が高いため、医療扶助費の増額が見込まれる。
- また、单身世帯かつ借家・住居者の増加により、住宅扶助費が増額となっている。

都市建設・産業経済

新商品開発販売PR促進事業

- Q. 昨年の事業の成果は？
- A. 茨城空港での小美玉特産品の販売PRを行うとともに、28年度は市内事業者に「酒かすアイス」を開発していただいた。

道路維持管理



道路維持補修の様子

- Q. 道路維持管理に関する区長等からの要望には、どれだけ対応できているのか？
- A. 要望等は年間200件程度あり、内容の緊急性にもよるが、対応できているのは約5割程度。
- 道路の要望は生活に密着しているので、要望に対応できるように努力してほしい。

農業集落排水事業

- Q. 今後の整備計画は？
- A. 現在進めている巴中部地区は、29年度で事業が完了する見込みとなっている。未整備地区については、既存の農業集落排水への編入や公共下水道の延伸など、今後、効率的な方策を検討していく。

水道料金

- Q. 水道局と湖北水道企業団との料金格差解消に向けて、市の考えは？
- A. 現在、国や県で水道事業の広域化を推進しているため、その動向にも注視しながら、平準化に向けて努力していきたい。

3月定例会日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
2日	本会議 開会、施政方針、議案上程	2名
7日	議会改革特別委員会	-
8日	本会議 一般質問	14名
9日	本会議 一般質問	21名
10日	本会議 一般質問、議案質疑	4名
13日	予算特別委員会	-
14日	予算特別委員会	-
15日	産業建設常任委員会	-
16日	文教福祉常任委員会	-
17日	総務常任委員会	-
21日	議会運営委員会 広報特別委員会	-
22日	全員協議会 本会議 委員長審査報告、追加議案上程、採決、討論、閉会	2名

# 委員会審査Q&A

## 各委員会に付託された23議案を審査

本会議で付託された23件の議案等について、15日から17日にかけて行った各常任委員会で審査しました。各常任委員会で審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

### 総務

(委員) 田島 川口 木田  
大長 荒関 鈴木

#### 市職員の勤務時間、休暇等の拡充

Q. 今回の改正点は？

A. 主に育児休暇対象となる子の範囲の拡充と、新たに介護時間制度を設ける。

Q. 休暇の取得状況は？

A. 現在、育児休業取得者は9名で、介護休暇取得者はいない。

#### 市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費の廃止

Q. 今回の改正点は？

A. 市長等の特別職及び職員の旅費に関し、内国旅行で日帰りの場合の日常を廃止等とする。

#### 字の区域の設定 「下吉影字テクノパーク」

Q. 設定する理由は？

A. 県が進める茨城空港テクノパーク工業団地造成事業の施行に伴い、事務処理の円滑化を図るため。



茨城空港テクノパーク

#### 財源内訳補正について

Q. 地方債のうち旧小川総合支所解

体事業債と公民館解体事業債の2件の財源内訳補正を行った理由は？  
A. 市全体の事業不用額となった一般財源があったため、利子を伴う2つの解体事業債を借りずに一般財源に切り替えたため。

### 文教福祉

(委員) 本仲 目川 谷木村  
岩谷 笹小 幡植 木

#### 中学校建設事業工事請負費の減額補正

Q. 中学校建設事業工事請負費の減額補正の要因は？  
A. 旧小川高校改修工事の建設付帯工事の一部を取り止めたことによるもの。

Q. 取り止めとなった工事とは？  
A. プール及びテニスコートの改修や、弓道場の解体、渡り廊下設置工事等。

Q. それらを取り止めとした理由は？  
A. プールは、小川南小学校のプールを併用し、テニスコートは、学校との協議の中で改修までの必要がないとの判断に至ったため。また、弓道場を残したのは、市政モニター等を通じて一般開放の要望があったことや、今後、武道の授業等への活用可能性を残すため。



旧小川高校改修工事の説明を聞く委員

#### 小美玉市学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)

Q. 運営内容と目的は？

A. 15名で構成する学校運営協議会が教育活動の報告を受け、学校へ意見具申したり、教育計画の提案を行い、学校の教育活動の活性化を図る。

Q. 実施する学校は？

A. 23年度から野田小学校で実施している。さらに29年度から小川北中学校で実施する。



**予防接種事業・成人保健事業**

**Q.** 予防接種事業・成人保健事業で受診者が伸びず、減額補正されているが、受診率を上げるには？

**A.** 来年度からは、個人通知の強化や、子宮がん・乳がん検診の実施期間を12月末から2月末までに期間延長した。

**産業建設**

(委員)  
田井村 槻井 島  
戸石野 大藤 福

**農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬**

**Q.** 農地の集積率と遊休農地の解消の達成率により、国からの交付金が毎年変動するというのだが、委員の実績に応じてそれぞれ報酬が変わるのか？

**A.** 小美玉市全体の実績として考え、全委員に同じ報酬額を加算する予定。

**公共下水道事業**

**Q.** 事業費が年々減少しているが、公共下水道事業の今後の見通しは？

**A.** 現在、経営戦略を策定中。起債や国の補助金などを考慮すると、毎年度約5億円程度の事業費で進めていくことになる。

**○** 市民の方から早期普及の要望が多くある。早期完成を目指し努力してほしい。



農業集落排水施設

**■ 3月定例会の討論(1件)**

● 議案12号「29年度一般会計予算」

**【反対】** 一般会計予算については、人事配置を含め、市民に寄り添ったとは思えない施策もあり、反対する。  
(福島議員)

**【賛成】** 本予算案は、経常的なコストを厳しく削減する一方、大義ある政策には積極的に投資をしていくメリハリの効いた予算と評価できる。  
(谷仲議員)

**■ 3月定例会の議案に対する主な質疑(5件)**

● 議案3号 (谷仲議員)

**Q.** 指定管理者の指定手続きの一部を改正する理由は？

**A.** 事業報告書の提出について、30日以内から60日以内に改正するなど実態に即した形へ改めるため。

● 議案9号 (小川議員)

**Q.** 農業委員、農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償の改正内容は？

**A.** 農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬にのみあてられ、農地の集積率と遊休農地解消の達成率により交付されるものであり、年額26万4000円を上限とし市長が定める額を支給するもの。

● 議案12号 (谷仲議員)

**Q.** 地籍調査測量委託料521万7000円の減額理由は？

**A.** 測量の基準となる地籍図根三角点の設置基準が、平成28年度から変更され、人工衛生システムを利用した測量に変更になったため。

● 議案12号 (福島議員)

**Q.** 市税収入について法人税が20%増収になった理由は？

**A.** 法人税の1億2700万円の増額は製造業、建設業、卸小売業、農林業が見込み額を超えたことによるもの。

● 議案13号 (福島議員)

**Q.** 出産育児一時金

1050万5000円の減額理由は？

**A.** 出産育児一時金は、国民健康保険の被保険者が産科医療補償制度に加入している病院等で出産した場合に、42万円を国保特別会計から支払う保険給付制度となっている。過去3年間の出生により国保に加入した乳児数の平均により85名を見込んだが、1月末現在で乳児数は40名となっていることから3月までに60名としたことによるもの。

● 議案19号 (福島議員)

**Q.** 介護保険料の増額になった理由は？

**A.** 介護保険料の増額になった理由は、8月の本算定により当初予算編成時よりも対象者が増えたため。

# 一般質問

## 市民の声を市政に



▲ 本庁舎の1階ロビーと3階の議場前、各総合支所の1階ロビーにTVモニターを設置しています。

◇	福島	ヤヨヒ	(10ページ)
◇	幡谷	好文	(11ページ)
◇	小川	賢治	(11ページ)
◇	谷仲	和雄	(12ページ)
◇	植木	弘子	(12ページ)
◇	木村	喜一	(13ページ)
◇	鈴木	俊一	(13ページ)
◇	長島	幸男	(14ページ)
◇	村田	春樹	(14ページ)
◇	戸田	見成	(15ページ)
◇	石井	旭	(15ページ)

### 性差なく女性が活躍できる職場体系を望む

#### 女性管理職目標 25%や体系の明確化に努める



### 福島ヤヨヒ

- Q** ①防火対策について火災発生後の検証と対策はどのようにされているか。
- A** 消防長 ①原因調査を実施、同様の火災が起きないよう原因等をホームページ上で公表し注意喚起している。②市の住宅用火災警報器設置率は77%、全国平均81%より低いので重要性を広報し設置率を高めていきたい。65歳以上の一人暮らしの方には福祉サービスがある。
- Q** ②火災死亡事故を防ぐためにも住宅用火災警報器設置に補助制度を望む。
- A** 消防長 ①原因調査を実施、同様の火災が起きないよう原因等をホームページ上で公表し注意喚起している。②市の住宅用火災警報器設置率は77%、全国平均81%より低いので重要性を広報し設置率を高めていきたい。65歳以上の一人暮らしの方には福祉サービスがある。
- Q** ①防火対策について火災発生後の検証と対策はどのようにされているか。
- A** 消防長 ①原因調査を実施、同様の火災が起きないよう原因等をホームページ上で公表し注意喚起している。②市の住宅用火災警報器設置率は77%、全国平均81%より低いので重要性を広報し設置率を高めていきたい。65歳以上の一人暮らしの方には福祉サービスがある。
- Q** ②火災死亡事故を防ぐためにも住宅用火災警報器設置に補助制度を望む。
- A** 消防長 ①原因調査を実施、同様の火災が起きないよう原因等をホームページ上で公表し注意喚起している。②市の住宅用火災警報器設置率は77%、全国平均81%より低いので重要性を広報し設置率を高めていきたい。65歳以上の一人暮らしの方には福祉サービスがある。
- Q** ①暗い道路を通路路として利用できるよう、十分な防犯灯の設置を望む。
- A** 消防長 ①原因調査を実施、同様の火災が起きないよう原因等をホームページ上で公表し注意喚起している。②市の住宅用火災警報器設置率は77%、全国平均81%より低いので重要性を広報し設置率を高めていきたい。65歳以上の一人暮らしの方には福祉サービスがある。
- Q** プール学習、校外学習の市バス利用状況は。
- A** 教育部長 現在、小学校6校、中学校1校が市バスを利用し、市B&Gプールを活用している。他の費用も活用し、校外学習などの学習支援に努めていく。
- Q** 住民サービスのためにも性差なくスキルアップできる研修、人事異動と、一層の女性活躍推進のために「キャリアアラダー」の施策を願うか。
- A** 総務部長 市として有益な職員を育成するためにも多様な検討をしていきたい。女性活躍推進法に伴い、女性の管理職目標25%や、性差なき人事評価制度に基づき、体系の明確化に努めていく。
- Q** 安心まちづくりのため、行政区境界などの通学路にもしっかりと防犯灯設置を願う。
- A** 危機管理監 28年度は、行政区負担の防犯灯約3100基をLED化した。29年度は市負担の防犯灯をLED化し、通学路にも新たに設置していきたい。



## 臭気問題解決に向けた事業展開を

### 研究し、協議を重ねていく

幡谷好文

**Q** 再生可能なエネルギーについて伺う。畜産、養鶏等から排出される糞尿による臭気問題解決に向けた事業展開をしてはどうか。

**A** 産業経済部長 家畜糞尿の適正な処理と有効活用は非常に重要と認識している。臭気問題の発生率が高いので、先進地の事例の研究と市の現状把握に努め生産者等と協議を重ねていく。

**Q** 老朽化の著しい消防団施設などの整備について、今後の市の計画を伺う。

**A** 消防長 現在配置されている19分団が31箇所の機庫を使用している。そのうちホース乾燥塔が整備されているのが18箇所、火の見やぐら利用が6箇所、どちらも整備されていない機庫は7箇所、整備された乾燥塔で老朽化の著しいところはない。乾燥塔は、29年度から9、13、

15分団の順に整備を進め、機庫の建て替えは2分団、その後、12、6分団を進め、消防団が活動しやすい環境づくりを計画的に進めていく。



左から火の見やぐらと乾燥塔

**Q** 市の条例により、市道認定を受けられない道路について、市の見解を伺う。

**A** 都市建設部長 市道認定の受け入れができないとされた私道路でも、舗装内の穴あき等、通行上危険で急を要する補修事案が発生した場合には、道路所有者や地元区長方と相談のうえ、必要に応じて適宜対処していきたいと考えている。

## 無電柱化への市の取り組みは

### 情報収集に努める

小川賢治

**Q** 無電柱化の推進について伺う。災害時の倒壊未然防止、景観の改善等の本市の取り組みは。



小川地区市街地

**A** 都市建設部長 無電柱化の推進は、道路の防災性の向上、通行空間の安全性の確保、そして良好な景観形成の3つの観点から、重要な施策と認識している。国県の情報収集に努め、推移を見守っていきたい。

**Q** ①空家等の購入や改修の補助制度、②空家解体撤去補助制度、③空家等の相談窓口の設置の3点について伺う。

**A** 市民生活部長 ①購入補助は購入額の20%以内（限度額20万円）。改修補助は改修経費の

20%以内（限度額10万円）。②制度化の目処は立っていないが、今後検討していく。③空家等に関する事務の全般を所掌する「空家対策係」を環境課内に新設する予定となっている。

**Q** 地方創生推進事業（仮称）ヨーグルトサミット実施計画策定委託について伺う。

**A** 企画財政部長 乳製品を生産している全国の市町村企業と連携をとり、検討していきたい。国庫補助の地方創生推進交付金を活用し、29年度に実施計画等を作成し、30年度にはイベントを開催したい。



小美玉市の生乳で作られたのむヨーグルト

## 空き家等の適切な管理を促す取り組みは

### 空家特措法に基づき進める

谷 仲 和 雄



**Q** 空家等の所有者等へ適切な管理を促すための行政指導は。

**A** 市民生活部長 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき所有者等へ文書による助言を行う。改善が見られない場合は、特定空家等に認定し、指導、警告、命令と段階を経たうえで最終的には行政代執行が可能となる。迅速な現地確認により所有者等に適切な管理の助言等を行い、問題の早期解決に取り組む。

**Q** 茨城県大猫殺処分ゼロを目指す条例が施行された。野犬等の捕獲状況、教育等での啓蒙啓発、県と市の連携は。

**A** 市民生活部長 本市の捕獲状況について、28年度は29年1月末時点で犬101頭、猫84頭の計185頭。27年度は犬146頭、猫116頭の計262頭。この頭数には市民が県動物指導セン

ターに直接持つといった頭数も含まれる。小中学生を対象とした動物愛護教室の実施等、県と連携しながら犬や猫の殺処分減少に努める。

**Q** 茨城国体で本市はデモンストレーションスポーツ少年少女サッカーの会場となる。運営の準備スケジュールは。

**A** 教育部長 少年少女サッカーの開催期間・要項等を協議するため29年度早々に準備委員会等を設立、開催前年には国体の開催要項が公表される予定から、年内に開催要項(案)を作成し、具体的な運営方法等を協議する。



茨城国体マスコットの「いばラッキー」  
H28 スポレクデー (玉里運動公園)

## 災害の教訓を生かし備えは万全か

### 新たに必要なものを適正整備していく

植 木 弘 子



**Q** 大震災後に策定された防災計画も4年経ち、見直しが必要と考えられる。特に、備蓄品についてはどうか。

**A** 危機管理監 避難生活では多種多様な物資等の要望があると思うので、順次備蓄の整備を図っていきたい。

○ 口腔ケア用品、火を問わずミルクを温める商品を備蓄品に含めていただきたい。

**Q** 子育て支援として「紙オムツ補助事業」の早期実現を求めるほか、乳幼児用防犯グッズ贈呈事業等について伺いたい。

**A** 福祉部長 周辺の取組みや、現行の経済的支援を含めての財政計画などを踏まえ、実現に向け検討しているところ。少子化対策支援にもつながるので、紙おむつの補助は早急に対応したい。乳幼児防災グッズについては、災害備蓄

品として対応しているが、さらなる充実を図っていきたい。



飼ったら最後まで…

**Q** 県の動物殺処分の削減を目指す条例を受け、市としての対応策やルール作りは。また動物愛護教育等について伺う。

**A** 市民生活部長 犬猫の避妊・去勢手術に対する補助事業、捨て犬猫の引き取り等を継続していく。飼ったら最後までを基本に啓蒙・啓発に努める。

**A** 教育部長 動物愛護教室の実施に向け、学校等へ情報提供等の支援や、愛護精神を育てる機会を拡大していきたい。



## 教育格差是正 地域未来塾創設を

### 課題がさまざまあるが検討していく

木村 喜一

**Q** 本市においても教育格差是正のため、公の塾「地域未来塾」の創設を求めるが、市の取り組みは。

**A** 教育部長 実施に向けて先進地の状況調査を行っているが、指導員の確保や推進委員会の設置、コーディネーターの配置が最重要課題となっている。そのほか地域未来塾の名称や、放課後児童クラブとの連携が可能かどうか等、さまざまな課題があるので、29年度はさらなる調査研究を行い、検討していきたい。

**Q** 空港アクセス道路整備事業の進捗状況について伺う。首都圏から本市や空港への陸の玄関となる新規道路、安全第一に課題を克服し、早期の開通を望むが、進捗状況は。

**A** 都市建設部長 現在の用地買収は概ね7割程度の契約を締結し、工事については大谷、竹原地



工事の進む茨城空港アクセス道路（竹原地内）

区の地盤改良工事や国道6号の横断函渠工事などに着手し、計画的に工事を進めている。また、埋蔵文化財等の調査は、用地買収が完了したところから試掘調査を実施し、埋蔵文化財が確認されたら手続が必要となるので、教育委員会と十分協議して進めていきたい。

29年度も引き続き残りの用地買収を進めながら、一定の用地買収が完了した区間から、本格的に土工事や排水工事などの道路改良工事を進め、早期完成を目指していきたい。

## キャトル・セゾンの目的は達成したのか

### 道半ば、経営再建を目標としている

鈴木 俊一

**Q** 美野里地域食材供給施設（キャトル・セゾン）について伺う。設置当初の目的は達成したのか。

**A** 産業経済部長 道半ばであるが、リニューアルオープン後は、有限会社みのりの森の経営再建が一番の目標として取り組んでいる。

**Q** 企業誘致について伺う。外部から来た企業には優遇措置が図られるが、まず積極的に優遇すべきは地元企業ではないかと考えるが、市の考えは。

**A** 産業経済部長 もちろんです。市内企業の事業規模の拡大や設備投資等を図ることで、産業人口が定着し、地域が活性化されると考えている。現在実施している固定資産税の特例措置は、市内の事務所等を新設または増設した法人でも一定の雇用者数が増加すれば課税免除となる優遇措置なので、ご理解

いただきたい。新たな優遇制度のあり方についても早期に施行できるように努力していきたい。

**Q** 三箇から先後へのバス路線運行補助金導入の経緯と、今後の見通しについて伺う。

**A** 企画財政部長 平成6年と9年に当時の関東鉄道より大幅赤字のため路線廃止の申し出があったが、議会、地元行政区、地元PTA関係者で協議を重ね、①小学校への交通手段に係る児童全員が利用する②利用者負担金を支払う③市が運行経費の一部助成する。の3項目等で、県道玉里水戸線の歩道及びバイパス整備が完了するまで継続とする覚書を取り交わした。今後基本的にはこの覚書に沿っていくが、少子化による利用者の減少等やスクールバス運用との整合性などを検討していきたい。

## 今後の財政の変化に対し、市の対応は

### 市債を有利な財源とし活用していく

長 島 幸 男



**Q 合併10年、市の財政の変化と今後の対応について伺う。**

**A 企画財政部長** 10年間で借入残高は100億円以上増えているが、臨時財政対策債と合併特例債が借入残高の大半を占めるため、交付税措置分を差し引いた実負担額は合併時点より低い状況になっている。また、利子残高は合併時点よりも低い状況となっている。今後も健全財政を念頭に、国の交付税措置等がある市債を効果的に活用して、有利な財源とするよう努めていきたい。

**Q 行政区の加入率減少をどう捉えているのか伺う。①この状況を把握し、危機感を持っているのか。②どのような対策があるか。**

**A 市長公室長** ①28年4月時点の区加入率は58・42%で、その対策に苦慮しているが、②現在の加入促進に加え、行政



区長会との意見交換会（アピオスにて）

区長アンケート調査、区長会との意見交換会のほか、行政区に加入するメリットを打ち出し、具体的には、災害時に対応する自主防災組織や高齢化社会に対する見守り、日常的な防犯等の安全対策、住環境の維持等、共助、近助により行政区の役割機能を充実させるなど検討したい。地域担当職員制度の導入や、集落支援員制度など、本市に合った新たな住民自治制度の創設に向け、先進的な事例の把握にも努めていきたい。

## 部活動における運動格差の解消を

### 支援により保護者の負担軽減を図る

村 田 春 樹



**Q 羽鳥駅橋上化、羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況は。**

**A 都市建設部長** 駅舎及び自由通路、東西自由通路部分は、工事に必要な建築確認申請手続を行い、2月20日付で確認済証の交付を受けたところ。現在は、さらに東西駅前広場工事早期着手に向け、実施設計の最終的な取りまとめや、JRを含む各関係機関との協議を進めている。

**Q 28年度の市総合防災訓練をなぜ中止にしたのか。雨で中止以外のことはできなかったのか。今後の訓練の方向性についても伺いたい。**

**A 危機管理監** 小雨決行で計画していたが予想より雨が強く、ご参加いただく市民の皆様の間での移動の難しさから、訓練を中止と判断させていただいた。また、当初から予備日を設けることは難しかった。

今後としては、各地区の自主的な訓練にも訓練用非常食料の配布や訓練資機材の無償貸与、地区集落センター等での防災講座や防災士など地区訓練の専門指導員の派遣等、地域での防災意識の向上を後押しする支援事業を実施していきたいと考えている。

**Q 中学生の部活動における運動格差をどのように考えているのか。**

**A 教育部長** 中学校生徒には部活動への加入を勧めており、運動部加入率は75・8%、文化部加入率は20・2%となっている。部活動の諸経費は原則個人負担となっているが遠征費等の支援により、部活動に係る生徒、保護者の負担軽減を図っていきたくと考えている。

○生徒が保護者の負担を気にせずやりたい部活を選べるように支援を望む。



## 高崎地区の土壤汚染をどうするのか

### 土壤を除去し、不安の払拭に努める

戸田 見成

**Q** 市内高崎地区の土壤汚染について「ごみ処理場から検出された毒物（ヒ素等）」を市はどうするのか。

**A** 市民生活部長 安全を確保するためすべての基準不適合土壤の除去を行うよう要請し、今回入札公告にその内容を盛り込んだところ。不安の払拭に努めたい。

**Q** ①福島原発事故に関し、小美玉市の賠償問題の経過は。②東海原発に関する避難計画は盛り込まれたのか。

**A** 危機管理監 ①放射線対策に要した経費として26年度までに6314万を請求し、2351万の支払いを受けている。今後も東京電力ホールディングスに対し、継続して賠償を求めていく。

②27年3月に茨城県広域避難計画が策定された。本市は30キロ圏外

であるため、その計画に基づき、原発近隣のひたちなか市からの避難者受け入れを協議、検討しているところ。

**Q** これからの時代の教育をどう進めるのか。子どもたちの人間形成と教育権の保障、次世代のための教育は何をなすべきか。

**A** 教育長 教育は人づくりと考えている。確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスがとれた児童・生徒を育成したい。また、変化する社会の中でも自立し、未来を切り開いていくための力を育む学校教育の推進に邁進したい。

#### 【その他の質問】

○霞ヶ浦二橋大橋を市長はどう思っているか。

○29年度の人事はどうするのか。

## 3小学校を北中敷地内へ移転し、小中一貫を

### 一つの意見として検討する

石井 旭

**Q** 野田・上吉影・下吉影統合小学校の整備予定地を小川北中学校の敷地内に移転し、小中一貫校として検討できないか。

**A** 教育長 小中学校規模配置適正化実施計画では、整備予定地を小川北中学校周辺としており、想定される土地の権利調査、校舎及び体育館の位置やグラウンドの位置等の現地調査を進めている。

今後、統合準備委員会で、具体的な移転先や施設一体型小中一貫教育のあり方、特色等を検討するので、一つの意見として検討させていただきます。

**Q** 小学校統合により児童は新しい環境に馴染めるか。どのようなケア対策を考えているのか。

**A** 教育長 3校が1つになり子どもが不安になると思うので、統合準備委員会に設けた学校



小川北中学校

運営部会で交流事業を検討している。主な対策としては、市内の小5年生を対象とする2泊3日の自然教室や、中学校行事に3校とも参加するなどしている。

# 先進地に学ぶ

## 研修視察の報告

### 文教福祉常任委員会

#### ・議会改革推進特別委員会合同

◆視察日：28年10月11日～12日

◆議員：市村文男・大和田智弘・

笹目雄一・小川賢治・藤井敏生・

岩本好夫・幡谷好文・植木弘子・

木村喜一・鈴木俊一

#### ◆視察先・内容

##### ①北海道登別市議会

「議員政治倫理条例」や「中小企業地域経済振興基本条例」等、議員提案により成立した条例を策定するまでの協議経過について学びました。また、議会のIT化推進への積極的な取り組みについて研修しました。

##### ②北海道介護福祉学校、北海道栗山町社会福祉協議会

栗山町では、人に優しい福祉の町づくりの取り組みから、将来の高齢化を支える優れた人材を栗山町から輩出しようとして設立された、北海道で唯一の介護福祉士養成の



登別市議会にて

公立校「北海道介護福祉学校」の取り組み状況について研修しました。

また、同町社会福祉協議会では、介護や看病で心身ともに疲弊しがちなケアラーに対し、先進的な取り組みを行っており、その状況について研修しました。

### 議会全体



嘉数高台公園にて

### 正副議長・委員長

#### ・議会運営委員会合同

◆視察日：2月15～16日

◆議員：市村文男・戸田見成・

大和田智弘・小川賢治・藤井敏生・

谷仲和雄・幡谷好文

#### ◆研修先・内容

高松市役所（産業振興課）

「企業誘致・交流の促進」

・主な商工業振興施策など

高松市役所（観光交流課）

「観光情報の効果的発信」

・観光ウェブサイトのリニューアルなど

#### ◆研修先・内容

##### 沖縄県沖繩市議会

道の駅「かでな」、嘉数高台公園

沖繩市議会を表敬訪問し、道の駅

「かでな」では、沖繩市・北谷町・

嘉手納町の3市町にまたがる広大な

基地である「嘉手納飛行場」の航空

機騒音対策や、悪臭問題等の基地対

策の現状について研修しました。



高松市役所にて



広報特別委員会



広報編集の基礎を学ぶ

◆視察日：3月27日

◆議員：市村文男・大槻良明・小川賢治・谷仲和雄・石井旭・植木弘子・村田春樹

◆研修先・内容

(株)議録センター(埼玉県鴻巣市)

「一般質問集中コース」

① 伝わる原稿の書き方・まとめ方(基礎)

② すぐに役立つ見出しのつけ方と効果

③ 写真の役割と効果

視察受入れ

(主な2件)

群馬県みどり市議会  
「議会運営委員会」

■視察受入日：2月9日

■対応した委員：藤井敏生・笹目雄一・戸田見成・大和田智弘・大槻良明・小川賢治・岩本好夫・谷仲和雄・木村喜一・鈴木俊一

■視察目的：小美玉市の議会基本条例に基づいた、議会改革の進め方について研修を受け、みどり市の議会改革に役立てる。

■視察質疑の概要

① 議員定数について

・ 定数減の経緯等を協議しました。

② 議員報酬について

・ 報酬増額の経緯等を協議しました。

③ 政務活動費について

・ 小美玉市にこの活動費がない点を協議しました。

④ 議会報告会について

・ 市民への周知方法等を協議しました。  
・ 開催日や配慮している点を協議しました。

⑤ 議会改革について

・ 展望と課題を協議しました。



みどり市議会のみなさんと課題を協議

青森県三沢市議会  
「議会改革特別委員会」

■視察受入日：2月22日

■対応した委員：市村文男・藤井敏生・大和田智弘・大槻良明・幡谷好文・谷仲和雄・鈴木俊一

■視察の目的：小美玉市の議会基本条例に基づいた、議会改革の進め方について研修を受け、三沢市の議会基本条例の策定に役立てる。

■視察質疑の概要

① 議会基本条例について

・ 条例策定の経緯について協議しました。

② 議会報告会について

・ 集まった人数や会場での質問事項について協議しました。



熱心に説明を聞く三沢市議会議会改革特別委員のみなさん

## 一部事務組合の報告（一般会計予算）

（単位 千円）

組 合 名		金 額	
所管事務 斎場	<b>石岡地方斎場組合</b> 	歳 入	211,594
		歳 出	211,594
		小美玉市負担金	58,251
		構成市町村 石岡市・かすみがうら市・ 小美玉市	
所管事務 水道	<b>湖北水道企業団</b> 	収益的(収 入)	1,665,023
		収益的(支 出)	1,623,623
		資本的(収 入)	12,529
		資本的(支 出)	560,806
		構成市町村 石岡市・小美玉市（玉里地区）	
所管事務 ごみ処理	<b>霞台厚生施設組合</b> 	歳 入	743,300
		歳 出	743,300
		小美玉市分担金	167,052
		構成市町村 石岡市・かすみがうら市・茨城町・ 小美玉市（小川・玉里地区）	
※ H33.4 ごみ処理の広域化による供用開始を予定しています。			
所管事務 ごみ処理	<b>茨城美野里環境組合</b> 	歳 入	592,986
		歳 出	592,986
		小美玉市分賦金	206,353
		構成市町村 茨城町・ 小美玉市（美野里地区）	
所管事務 し尿処理	<b>湖北環境衛生事務組合</b> 	歳 入	659,273
		歳 出	659,273
		小美玉市分担金	154,032
		構成市町村 土浦市・石岡市・かすみがうら市・ 小美玉市（小川・玉里地区）	
所管事務 し尿処理	<b>茨城地方広域環境事務組合</b> 	歳 入	230,653
		歳 出	230,653
		小美玉市分担金	45,020
		構成市町村 水戸市・笠間市・茨城町・ 小美玉市（美野里地区）	

## 第43回プレゼントクイズ

\*答えは議会広報第45号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、「キャトル・セゾン」(四季の里内)のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 問① 3月定例会で一般質問を行った議員は〇〇名？  
 問② 29年度の一般会計の当初予算額は〇〇〇億8,700万円？  
 問③ 小美玉市が加入している一部事務組合の数は〇組合？

### ◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。  
 また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

### ◇応募〆切

平成29年5月25日(木)まで \*当日消印有効

### ◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛  
 FAX:0299-48-1199 Eメール:gikai@city.omitama.lg.jp  
 ☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

## 第42回クイズの当選者

40通のご応募をいただきました。  
 当選者は以下の方々です。

青木 真平さん	高倉 和江さん
横山 由紀恵さん	浦方 巖さん
西脇 登利さん	大内 正和さん
島崎 友恵さん	田村 匡弥さん
太田 昌宏さん	佐川 智美さん

## 第42回クイズの正解

問① 12月定例会で一般質問者数は？

[答 → 10名]

問② 新たに設置されたのは〇〇〇〇対策特別委員会？

[答 → 地域医療]

問③ 表紙の写真は「第10回小美玉市〇〇〇議会」？

[答 → 子ども]

## 皆さんから寄せられた声です

~クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています~

- ▶ 今年は待ちに待った羽鳥駅橋上化が進められるようですね。年寄りにも優しい乗場になるよう期待したいと思っています。(羽鳥・女性)
- ▶ 子供を連れて久しぶりに「そ・ら・ら」に遊びに行ってきました。子供が遊べる遊具などもっと増やしてほしいです。(中台・男性)
- ▶ 家族が介護生活になり福祉面でいろいろ新しい発見がありました。議会だよりも、すみずみまで目を通すようになりました。(中延・女性)
- ▶ 子ども議会での子供達の質問、無駄にならないよう祈ってます。市内循環バス堅倉より北がないので、やはり不便です。地域循環だと乗り換え、乗り換えになってしまうので。(西郷地・女性)
- ▶ 子ども議会の表紙がインパクトありました。今後の流れや意見が採用されていくことに期待です。スクールバス運行して欲しいです。(橋場美・女性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

# 議長通信



▲ 第146回 地方行政委員会にて挨拶をする  
市村文男委員長

- 2月9日：第102回 全国市議会議長会評議員会  
地方行政委員会の活動状況を報告しました。
- 2月14日：地方行政正副委員長会議  
第146回地方行政委員会の運営等について協議しました。
- 2月14日：第146回地方行政委員会  
欠員となっていた副委員長に下村佳弘鳥取市議会議長を選任したほか、協議では、28年度要望結果を了承し、次年度委員会への申し送り事項について、引き続き要望する必要がある事項（下掲、14項目）を原案の通り申し送ることとしました。また、講師の横田信孝・内閣府地方分権改革推進室次長から「地方分権改革の経緯と提案募集方式の取組について」と題し、説明を受けました。

## ◆ 次の定例会は、6月8日（木）開会の予定です！

定例会 日 会 程	会議等の主な内容	傍 聴	
		可 否	モニタ一 中 継
6月8日 (木)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
13日 (火)	本会議（～15日） (一般質問、議案質疑)	可	有
16日 (金)	常任委員会（～20日）	要確認	無
23日 (金)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

## 地方行政委員会申し送り事項（14項目）

- ① 地方分権改革の推進（更なる義務付け・枠付けの見直し及び都道府県から基礎自治体への権限移譲、国の出先機関改革、「国と地方の協議の場」における実効性ある運営）
- ② 地方創生の推進（まち・ひと・しごと創生事業費の安定的確保、地方創生推進交付金の充実確保、地方への分散を促進する誘導的な施策の促進、地方分権改革の一層の促進等）
- ③ 地方議会の権能強化等（更なる地方議会の権能強化、地方議会議員選挙における法定ピラ頒布の制度化）
- ④ 地方議会議員の厚生年金への加入（地方議会議員の厚生年金加入のための法整備の実現）
- ⑤ 消防防災体制の充実強化（消防防災施設・設備整備に対する財政措置の充実強化、消防防災通信ネットワークの充実強化、消防団の充実強化、消防広域化事業に対する財政措置の充実強化）
- ⑥ 過疎地域の自立促進（過疎地域に対する財政措置の充実等、過疎地域への税制上の配慮）
- ⑦ 合併市町村に対する支援の拡充（合併市町村に対する財政措置の充実等）
- ⑧ 社会保障・税番号制度に係る地方自治体への財政措置の充実等（制度の運用に係る経費への財政措置の充実、制度の周知徹底等）
- ⑨ 基地対策関係予算の確保等（基地交付金・調整交付金の所要額確保、基地周辺対策経費の所要額確保、米軍機による低空飛行訓練の中止）
- ⑩ 治安対策の強化等（暴力団等による組織犯罪、銃器使用の凶悪犯罪等への取組強化等、拉致問題の全容解明と早期解決）
- ⑪ 北方領土返還（早期返還の実現に向けた啓発活動等、北方領土隣接地域の振興対策等）
- ⑫ 竹島の領有権確立（竹島の領有権確立に向けた国内世論の喚起や国際社会へのアピール強化）
- ⑬ 日米地位協定の抜本的な改定（日米地位協定の抜本的な改定）
- ⑭ 人権救済制度の確立（人権教育及び人権啓発の推進、実効性ある人権救済制度の確立）



発行編集責任者 議長 市村 文男  
 広報特別委員会  
 委員長 大槻 良明  
 副委員長 谷仲 和雄  
 委員 小川 賢治  
 植木 弘子  
 石井 旭  
 幡谷 好文  
 村田 春樹

桜の花も咲き、季節は春へと変わり、入学式の時期になりました。市内各地で4月10日に中学校の入学式が行われる中、新しく開校された小川南中学校第一期生の入学式も行われました。新入生の皆さんには新たな友達、新たな生活、新たな校舎で元気にっばいに青春を謳歌してもらいたいと思います。また今年度から鳥駅橋上化が着工されます。私達市議会としましては、皆様と共に作り上げたいと思っております。  
 これからも開かれた議会を目指し、「伝える」ではなく「伝わる」を意識した小美玉市議会だよりを作成し続けていきますので、皆様のご支援よろしく願います。  
 4月は毎年熱中症にかかる方がいらっしやるので、皆様におかれましては、くれぐれもご自愛下さい。  
 (村田春樹)

## 編集後記